



市政記者クラブ加盟社 各位

## 盛岡市内の特別支援学校2校で 選挙啓発授業を初めて実施しました



盛岡市選挙管理委員会（委員長・小野寺正孝）は、岩手県立盛岡ひがし支援学校高等部（藤谷憲司校長・生徒数42人）と岩手大学教育学部附属特別支援学校高等部（安井もゆる校長・生徒数20人）の2校で、それぞれ初めてとなる選挙啓発授業を実施しました。

授業では、選挙の仕組みに加えて、投票用紙に自書することが難しい場合や意思表示が難しい場合、投票所に行くことができない場合など、投票に支援が必要な有権者への支援制度について説明を受けた生徒たち。架空の市長選挙を題材に、選挙公報で候補者の政策などを比較して模擬投票も体験しました。

授業を受けた生徒からは、「選挙や投票のことについて家族と話そうと思った」、「誰に投票するか相談しても良いと知れて安心した」などの意見が挙がり、職員からは「選挙や政治に関心を持って投票に行ってほしい」と生徒たちに呼び掛けました。

本年は地方選挙が執行されます。

市選挙管理委員会は、学校等からの要請に応じて職員を講師として派遣し、選挙啓発授業や出前講座の実施に対応していますが、このような機会を通じて、幅広い世代の選挙・政治に対する興味・関心が広がり、年代や障がいの有無にかかわらず、多くの有権者が選挙で投票することへつながることを期待しています。

### 1 実施日時、受講者数

(1)令和4年12月14日（水） 盛岡ひがし支援学校高等部の2・3年生26人

(2)令和4年12月21日（水） 岩手大学教育学部附属特別支援学校高等部全学年18人

【授業の様子】  
盛岡ひがし支援学校





岩手大学教育学部附属特別支援学校

